

グループホーム「櫻」第10回運営推進会議議事録

日時 平成20年11月25日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 1F 食堂
出席者 運営推進会議委員
逗子市福祉部 介護保険課長 和田 一 幸
葉桜自治会 副会長・福祉部長 杉浦 強 司
ご家族代表 小野寺 貞 子
(委員5名中3名出席)
医療法人社団柏信会 理事長 角野 禎 子
看護部長 武江 友 子
グループホーム「櫻」 管理者 菅谷 弘 子
事務長 遠藤 勝 三

会 議 概 要

1. 開会の辞

管理者は定刻になったので、各委員に本日の出席を謝し(欠席者2名) 会議次第により角野理事長に挨拶を要請。

2. 理事長挨拶

角野理事長は各委員に出席の労を謝し、櫻の現状等を簡単に触れ今後の協力を要請し挨拶とした。

3. 議案

管理者は理事長挨拶終了後、議事の進行及び報告等を事務長に指示。

事務長は配布資料の確認をした後、会議次第に基づき報告説明を行った。

4. 議題

(1) 報告事項

ア 運営状況(現況)等について

: 入居者の現況(20.11.1現在)

事務長は別紙資料により概要を報告。

全体的には前回報告時より介護度の進行、加齢等により一部数値に若干変動があった。但し資料作成後1名の入居者が急病で入院、急逝された旨を補足。(入院からわずか1日の急逝)

理事長より、病歴、病名、経過等の概要補足があった。

： 活動状況

資料「さくら」9月号及び10月号によるほか同月の行事予定表により活動の概要を説明し、特に屋外活動が入居者の介護度や健康状態等で制約が多く、思うように実施できないが施設内の行事は毎回ご家族等の参加を得て実施、ご家族、スタッフ間のコミュニケーション、ご利用者とご家族のスキンシップの場面作りに努めご家族等に喜ばれている等報告した。

イ 平成20年度外部評価の実施について

契約から各管轄市への報告までの流れについて別紙資料により説明した。

外部評価訪問調査日 平成20年12月11日(木)

事前調査書類等 自己評価表・職員勤務表・情報提供項目
家族アンケート一式・その他

自己評価100項目からランダムで30項目がチェックされる。
評価委員会の審査を経て21年2月に県及び市へ報告される。

ウ 逗子消防署の立ち入り検査について

11月7日(金) 13:30～14:30の1時間にわたり行われた。

口頭による指摘事項等

- ： 居室等のカーテンは防災加工品を使用し証明シール等の明示が必要。(特にレースのカーテンが不備)
- ： 備品の位置が不適當。(複写機、食器乾燥機等)
- ： 消防訓練等、計画に基づき年2回実施、消防署へ報告
- ： スプリンクラー設備の設置義務について
水道管連結のスプリンクラーの設置が必要との見解
- ： 現在、櫻として見積書作成を依頼中。

(2) その他

懇談形式で意見情報等の交換を行った要旨は以下の通り。

- ： 設置基準の据え置き期間(2年)内に設置を含め結論を出さなければならないが、設置基準の緩和も期待できる可能性もあり、ぎりぎりまで待っても良いのではないか。
- ： 指定事業所の更新時までには消防法をクリアしなければならぬか。
- ： 再指定申請は其の前に終了するので問題はないのでは。

- : スプリンクラーを設置場所及び個数は部屋によっては取り付免除にはならないか。
- : 県又は市において補助金等支援は考えられないか。
- : 国の施策であり広域的には国や県が対応すべきで市において現在は考えていない。東京都（区）では補助があるようだ。
- : スプリンクラーの配管だけでも600～700万円の費用が見込まれる。
- : 防災訓練等に関連、葉桜自治会環境部で防災マップを作成し独居老人の安否確認等で活躍（大橋正道氏）しているが、櫻と協定を結び訓練等に参加していただく方法もある。検討してみてはどうか。
- : 21年4月から保険料が3%アップされる。人件費へ反映されるか、介護職員の待遇改善に反映されるか疑問である。
- : 県内の特養稼働率は低い。スタッフが不足している。
- : 逗子市の特別養護老人ホームにおける待ちは現在280人。あと1箇所施設を作る予定。
- : その他、介護保険料等について他市との比較論などがあつた。

5. 閉会の辞

その他特に問題発言等もなく、予定時間少し前であつたが管理者は本日の出席に感謝し閉会を宣した。

なお、次回開催は21年2月最終火曜日を予定とした。